

平成22年
7.15
第66号

おばなざわ 市議会だより

平成22年度一般会計補正予算など11議案を可決



ニツ森山頂 (山開き)

4月臨時会 6月定例会	補正予算・議案の審議	2	ページ
	請願の審査結果	3	ページ
	一般質問	4	ページ
	可決された意見書	6	ページ
	可決された議案・新議員の紹介	7	ページ
	私のひとこと・人のうごき・あとがき	8	ページ



平成22年 6月定例会

一般会計補正予算
一般会計予算総額

4,014万円
98億6,165万円

4月臨時会

地域情報通信基盤整備工事請負契約の締結

平成22年6月定例会が5月31日から6月7日までの8日間の会期で開催されました。

5月31日に小野市長より市政概況報告があり、平成22年尾花沢市一般会計補正予算(第1号)(歳入歳出それぞれ2千951万円追加)など専決処分承認1案件、平成22年度一般会計補正予算(第2号)(4千14万円を追加)など補正予算4案件および一般議案4案件などの8案件が上程され提案理由の説明がありました。

請願4案件は各常任委員会に付託され、6月2日、3日は一般質問が行われ、5名の議員が市政全般について市当局の考えを質しました。最終日となる7日には本会議が開催され、意見書提出などの議案3案件が追加提案され審議の結果、本定例会に上程されたすべての議案はいずれも原案通り可決されました。

また、4月臨時会が4月12日開催され、平成21年度尾花沢市一般会計補正予算(第12号)の専決処分の承認についてなど9案件が上程され、すべての議案はそれぞれ審議の結果いずれも原案どおり可決されました。

4月臨時会

(議案の主な内容)

- ◎21年度一般会計補正予算(12号)
 - ・特別交付税 1億円(歳入)
 - ・財政調整基金積立金 7千万円(歳出)
 - ・新鶴子ダム受益者負担償還対策基金積立金 3千万円(歳出)
- ◎21年度簡易水道特別会計補正予算(5号)
 - ・一般会計繰入金 630万円(歳入)
 - ・給水車更新事業 330万円(歳出)
 - ・水道施設改良費 300万円(歳出)

議案の審議

市税条例の一部改正する条例

質 この度の市税条例の改正はどのような内容ですか。
答 今回、国の地方税法の改正に基づく改正です。主なものは65歳未満で公的年金所得あるい

地域情報通信基盤整備工事請負契約の締結

は給与所得がある場合について、特別徴収をできるようにしたものです。また子供手当の支給で23年分から所得税に年少者の扶養控除が無くなり、16才から18才までの特定扶養控除が減額されます。24年分からは住民税に關係し、扶養申告をして頂くような点が変わります。さらには、たばこ税の引き上げが10月1日からなされるので地方税改正に伴う条項整理の内容になります。

質 プロポーザル方式の審査方法はどのようになりますか。
答 審査委員会は委員長が副市長で、あとの5名は関係課長で構成しています。今回1課長が重要公務と重なり欠席したことにより、1委員100点満点の評価で26項目にわたり採点評価しました。5名の平均値が90点で合格決定に至ったところです。今後最低制限価格なり、点数を設置して、慎重な審査をしていきます。

補正予算の審議

福祉関連予算の減額補正

質 除雪サービスマニヤ委託料や肺炎球菌予防接種委託料の大幅



減額は、利用したい人達への周知させる努力が不足していたのではないですか。

答 除雪サービスマニヤは当初40万円が今回200万円の減額となりましたが利用率の向上に努力していきます。

肺炎球菌の予防接種委託料は2千人の接種を見込んでいたが実際1千300人ほどのことで120万円減額を計上しました。今年度も周知方に努力していきます。

質 よつば保育園児の送迎バス事業費の減額はなぜですか。

答 運転業務をシルバー人材センターへ委託しましたが、健康診断、健康管理を十分留意していると聞いています。なお、子ども達の安心安全を守る上で、シルバー人材センターと協議していきます。

6月定例会

(議案の主な内容)

◎22年度一般会計補正予算(1号) 総額2千951万円追加

・ 県議会議員補欠選挙費及び市議会議員補欠選挙費

◎22年度一般会計補正予算(2号) 総額4千14万円追加

・ 農業経営体育成支援事業12件分 歳入・県支出金2千86万円

・ 常磐中学校耐震化工事追加 歳入・繰越金 450万円

・ 松尾芭蕉真筆購入費 歳入・ふるさと応援基金 550万円

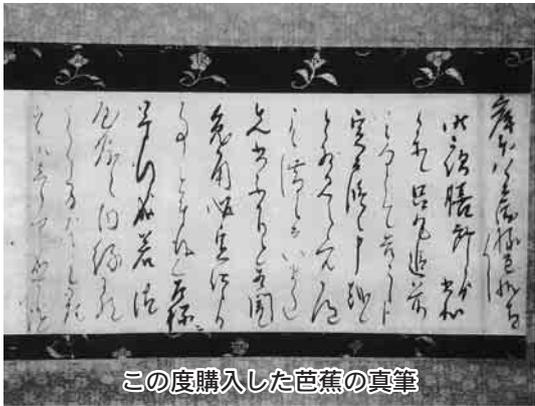
・ 日本脳炎予防接種委託料(3才児分) 歳入・繰越金 227万円

・ 花笠踊りを活用した観光誘客推進事業 歳入・県支出金(ふるさと雇用再生特別基金) 271万円

◎22年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

・ 非自発的失業者の保険料軽減システム改修委託料 歳入・国庫支出金 168万円

◎老人保健特別会計 支払基金交付金返納金 歳入・一般会計繰入金 65万円



この度購入した芭蕉の真筆

補正予算の審議

質 山形県経営体育成交付金と農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業費補助金の内容は何ですか。

答 経営体育成交付金は、ビニールハウス、作業場、コンバイン、田植機など農機具に補助する制度で、11名の個人と1法人が該当しました。また農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業補助金は昨年度と今年の継続事業としてハウス1件とリンドウの花のバイテク室にかかわる施設1件です。



川崎市からの訪問団へ花笠踊りの講習風景 (花笠踊りを活用した観光誘客の推進事業)

請願の審査結果

採択された請願

平成22年請願第3号

◎村山北部土地改良区玉野地区農道192号線を市道に編入を求める請願
上原田区長 高橋喜久雄

平成22年請願第4号

◎六沢地区一級河川「綱木川」の河川改修を強く願う請願
六沢第1区長 草刈 武
六沢第2区長 近藤 一昭
綱木川河川改良期成同盟
会長 高橋 一夫

平成22年請願第5号

◎市道Ⅲ-24号線拡幅改良整備に関する請願
芦沢第1区長 柿崎 新一
芦沢第2区長 佐藤 主計

平成22年請願第6号

◎米戸別所得補償モデル事業を有効なものにし、再生産できる米価の実現を求める請願
尾花沢市農業を守る会
会長 菅野 駿



6月定例会

一般質問



菅野修一議員

尾花沢フードバレープロジェクトの推進で農業の振興とまちの活性化を

質 宮崎県では家畜伝染病口蹄疫の発生から1ヶ月で、牛豚計32万3千頭を処分しなければならぬとの非常事態に発展し、県畜産が壊滅の危機に瀕しています。本市は和牛飼育1万頭を目前し、雪降り和牛尾花沢としてブランド確立に努めている時、完璧に守らなければなりません。万全なる口蹄疫予防対策と、万が一の事態での初動危機管理体制はどう図られていますか。

市長 口蹄疫は、伝染力の強い病気であることから、対策はすべて「家畜伝染病予防法」及び国が定める「口蹄疫に関する特定防疫対策指針」に基づき行われます。日々の防疫対策としては、人の出入り・車の出入り・家畜の観察等の注意を指導しています。初動危機管理対策としては、家畜保健衛生課は通報を受けたら現地調査及び材料を採取し、検査施設に搬入します。検査施設では、遺伝子検査及びウイルス検出検査を行い陽性反応が出た場合、家畜伝染病予防法に基づく防疫措置を対応マニュアルに基づき実施します。

具体的な対応としては、殺処分・焼埋却・消毒・発生地通行遮断・移動制限(半径10km)・搬出制限(半径20km)・消毒ポイントの設置・追跡疫学調査・周辺農場の立入検査等が実施されます。**質** 尾花沢は優れた食の宝庫です。これらを活かしたまちづくりとして、尾花沢フードバレープロジェクト(食料の基地構想)を企画推進してはどうですか。

市長 都会への食材供給が市の大変な活性化につながると思われませんが、供給できる量や品質、安定的に供給継続が可能であるのか等の課題もあります。課題を克服し、農家所得の向上や雇用拡大を図るためには、創意工夫プロジェクトや新やる気のある農業者等育成事業を有効活用してもらい、活力ある農村社会の構築を目指していきます。

質 市行政において、積極的に結婚活動を支援する担当部署の設置してはどうですか。

市長 現在の結婚促進協議会による相談事業を充実強化して、関係部署と連携して取り組んでいきたい。



加藤克彦議員

職員の意識改革を図れ

質 不祥事が相次ぎ、職員教育、意識改革をどう図って行きますか。

市長 度重なる不祥事については、大変申し訳なく常々、職員には市民の公僕である公務員の原点に立ち、公平公正、かつ市民の声に真しに耳を傾け、職務に精励するよう訓示をしています。職員教育は、県の研修会や市の独自研修会など機会を捉え研修を重ねています。市長自らが常に高い倫理観を持って職員の自己研さんを押し進め意識改革を図っていきます。

質 第6次総合振興計画の策定をするにあたり、小野市長12年間の総括をどのように生かして行きますか。

市長 国県からの財源獲得、行財政改革や、自主財源の確保を図りながら、「第5次総合振興計画」に掲げた施策を概ね達成することができました。今後は、地域資源をさらに活用し、雇用を生み出すとともに、尾花沢の特性特色を活かしたまちづくりを進めることが重要です。

質 山刀伐峠の子宝地蔵と猿羽

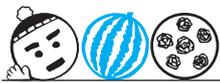
根地蔵尊は、一つの石から作られた兄弟地蔵であり、銀山温泉の山の神社との観光ルートを考えてはどうですか。

市長 行政が直接的に地蔵様や神社の宣伝を行うことは、難しい点もありますので、観光協会や最上町と組織する「おくのほそ道山刀伐峠保全整備協議会」などを通じて誘客を図っていきます。

質 「雪降り和牛尾花沢」の販売戦略と口蹄疫対策は、どのように考えていますか。

市長 「雪降り和牛」というネーミングにし、さらに、肥育期間32ヶ月以上で未經産のメス牛だけとし、他のブランド牛とは異なる物差しで他を圧倒する価値を設け、メディアを通じたPRを行っていきます。

口蹄疫は伝染力の強い病気です、その対策はすべて「家畜伝染病予防法」に基づき行われます。県で策定した「山形県口蹄疫対策本部対応マニュアル」に基づき関係機関と連絡調整し対応していきます。



6月定例会

一般質問



奥山 格議員

口蹄疫の感染予防と対策について

質 もし本市に口蹄疫の感染が確認されたとしたら、本市の畜産業が壊滅的な打撃を被るのは、想像に難くありません。本市での口蹄疫の感染予防の対策はどうするのですか。

市長 口蹄疫の発生を防ぐためには、各農場の飼養管理・衛生管理を徹底してウィルスの侵入を防ぐことが大切であり、常日頃から農場を訪問する車両・持ち込む機材は消毒し、関係者以外の農場への立入は制限することが、未然に防ぐ有効な手段であると思います。
質 現在市内の畜産農家に消毒剤を配布しているが、消毒液の配布も必要ではないですか。
市長 消毒液の配布については、関係機関と連携し検討していきます。
質 本市の畜産農家は子牛を全国から買ってくるので、子牛から感染する恐れがありますが、その対策はどうしますか。
市長 市場から口蹄疫に感染した子牛が導入される可能性については、宮崎県及び隣接県において、子牛市場の開催を自粛し

ています。宮崎県での口蹄疫が終息するまで危険地域からの導入を停止し、子牛の導入先を関東・東北・北海道からとしています。

質 市内の企業はいまだに厳しい状況にあり、市内の1企業が3月までに工場を閉鎖しました。これによって失業された方々が再就職先を見つけられなかったなどの実態を把握する必要がありますのではないですか。
市長 閉鎖した企業の従業員すべての方々その後の動向を追跡し把握するのは困難ですが、今後もできる限り情報を収集していきます。

質 これからも雇用調整助成金の制度を継続するように、市としても政府に要望していくべきではないですか。
市長 雇用調整助成金については、本年度末までの時限措置とされていますが、依然として景気の動向が不透明ですので、企業経営を支援する上からも、継続について働きかけていきます。

質 働く場の確保について、新たな雇用の場の創出をどう考えていますか。工業団地の造成と企業誘致の取り組みはどうですか。
市長 企業誘致については、景気低迷により企業の設備投資等が回復基調にないことから早期の設備投資は厳しい状況ですが、今後の投資ニーズの把握に努め、新たな企業の誘致に努めていきます。



大類準一議員

働く場の確保と地域特性を活かした振興策は

質 農業後継者育成と米の消費拡大施策はどうですか。また、地場産業の創出と地域特性を活かした振興策はどうですか。
市長 これからの農業は、農家自身が生産から販売まで考えた営農経営が必要と考えます。行政はそれをバックアップして、やる気のある農家を一人でも多く輩出していくことが大事であると認識しています。県が提案した創意工夫プロジェクトも市の新たな気のある農業者等育成事業も時代にあわせた施策であり、本事業を大いに活用していただければ、農業振興に寄与するものと思います。

地場産業の創出としては、農業に係わるハウス栽培や農産物の加工が考えられます。既に取組んでいる農家もありますのでその推移を見守っているとところです。
質 畜産業の振興について、獣医師の充実と尾花沢の子牛対策はどうですか。また、尾花沢牛の販路拡大の状況はどうですか。
市長 獣医師の確保については、飼養頭数が増加しており、家畜の防疫・衛生指導も含め適正な配置を関係機関に要請していきます。子牛対策としては、子牛の生産コストや肥育頭数が増加したことにより、すべて地元調達は困難であることから、他産地からの導入に頼らざるを得ないものと考えています。

尾花沢牛の販路拡大のため、雑誌や新聞掲載等マスコミの活用、インターネットによるPRおよび販売、尾花沢牛取扱指定店の拡大（京都市・花巻市・東京都）、雪降り和牛尾花沢の商標登録、本年9月東京銀座での尾花沢牛精肉通年販売の支援等を進めています。



6月定例会

一般質問



石塚ミツ子議員

国保税値上げのストップを

質 高くて払いきれない国保税。過去10年間で、3回の値上げがあり、今年も値上げを含む試算をし、検討されたと思いますが、どのように値上げを回避されましたか。

市長 21年度は基金の一部取り崩しなど国保財政は厳しい状況にあります。現在の社会情勢を踏まえ、保険税率を現状維持としました。

質 国保税の負担は支払いの限界だと思えますが、加入者の負担増を避けるために、自治体はどのような努力をすべきだと思いますか。

市長 国保財政は、医療給付額に大きく影響するため、特定健診やがん検診など、未受診者対策を講じながら医療費の抑制を図り、収納率の向上により、収支バランスの確保に努めていきます。

質 高くて払えない国保税滞納者に資格証明書発行について「悪質滞納者だと証明するまで、慎重に対応するように」と、厚生労働大臣答弁を重視すべきだと思いますか。

市長 資格証明書等の発行については、国民健康保険資格審査委員会を開催し、厳正に対応しています。今後、滞納者の状況を把握しながら慎重に対応していきます。

質 住宅リフォーム助成制度は不況対策の一環で仕事おこしとなり、また、経済効果が大きい制度として全国に広がり、県内11自治体で取り組まれていますが、本市で実施する考えはないですか。

市長 議員提案の住宅リフォーム助成制度については、財政状況を勘案しながら、市としての全体的な経済対策や22年度で期限となる住宅対策事業の見直しの中で、十分検討すべき課題であろうと認識しています。

可決された意見書

◎安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める意見書

第4次勧告では、「直轄事業制度の改革に向け、国の直轄事業範囲の限定、関係する国の出先機関の縮減・廃止、直轄事業負担金制度の廃止、道路・河川の移管に伴う国民負担率並みの交付金の創設、地方自治体と事前に協議する仕組みの創設などについて、直ちに工程表を作成し、速やかに取り組むべきである」としています。

しかし、憲法を遵守する立場である国家公務員労働者は、すべての国民が健康で文化的な最低限の生活を営む権利を守る義務があり、どの地域に住んでいても平等・公平に行政の恩恵を受ける立場から、地域間格差、地方切り捨てにつながる現在の地方分権改革の動きには賛同できないものではありません。よって国民の生命と財産を守ることは「国の責務」として存続するよう求めます。

◎米戸別所得補償モデル事業を
実効あるものにし、再生産できる米価の実現を求める意見書

米価の下落と深刻な米流通の停滞をきたす中、政府は、来年度以降の戸別所得補償政策に先立つ、「米戸別所得補償政策モデル事業」水田利活用自給力向上事業を開始しましたが、市場原理一辺倒農政の転換や、強制減反見直しという点で、これまでの農政に一定の修正をもたらす面があります。米だけではなく転作作物や果樹等への手厚い支援も欠かせません。

- 以上の趣旨から次の3項目について意見書を提出します。
1. 「米戸別所得補償モデル事業」の補償単価を、2008年産米の1俵あたり全参入生産費である1万6千497円相当に引き上げること。
 2. 政府が明言した国産米100万トの棚上げ備蓄に見合う量を買入れること。買入れに当たっては、生産費を賄う価格水準とすること。
 3. ミニマムアクセス米や主食用のSBS輸入を削減すること。





可決された議案

4月臨時会

- 承第1号 平成21年度尾花沢市一般会計補正予算(第12号)の専決処分の承認について
- 承第2号 平成21年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について
- 承第3号 平成21年度尾花沢市一般会計補正予算(第13号)の専決処分の承認について
- 承第4号 平成21年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について
- 承第5号 尾花沢市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について
- 承第6号 尾花沢市過疎地域固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について
- 承第7号 尾花沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について
- 議第29号 市有地の減額譲渡について
- 議第30号 平成21年度尾花沢市地域情報通信基盤整備工事請負契約の締結について

6月定例会

- 承第8号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について
- 議第31号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第2号)
- 議第32号 平成22年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議第33号 平成22年度尾花沢市老人保健特別会計補正予算(第1号)
- 議第34号 尾花沢市公告式条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第35号 尾花沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第36号 尾花沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第37号 市道路線の認定及び廃止について

【議会案】

- 議会案第2号 安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める意見書の提出について
- 議会案第3号 米戸別所得補償モデル事業を実効あるものにし、再生産できる米価の実現を求める意見書の提出について
- 議会案第4号 議員派遣について

新議員の紹介

この度、市議会において、井上拓夫前議長の逝去、菅原信博・加賀正和両議員の辞任にともない3名の欠員となり、公職選挙法第34条の規定により、補欠選挙が執行されました。6月13日の告示日に補充定員の3名の方のみの立候補受付により、無投票当選となりました。新市議会議員が誕生し、所属常任委員会も決定しましたのでご紹介致します。

▽五十嵐 佳満

(総務文教常任委員会)

若葉町三丁目21-17
TEL 22-0400

▽大類 好彦

(総務文教常任委員会)

禁町二丁目1-12
TEL 22-1539

▽山田 輝

(市民厚生常任委員会)

新町一丁目13-29
TEL 53-0963



私のひとこと



伊藤 慎哉さん
(古殿)

◎食について思うこと

安全安心の○○・・・など、こんな当たり前のことを表記しなければいけないようになってしまっている悲しい食品事情です。食育なんていう、生きていく上で最も基本的な行動までも教えなければいけない現状は異様に感じています。

自然農を始めてはみたのですが、結局のところ家庭菜園に落ちついてしまっているのが今の自分で、あまり説得力はないのでしようが、ご指名だったので、好き勝手に書かせて頂きます。僕は雑草を敵としない草生栽培から自然農に入ってきたため、草を生やした他にさらに草の種を撒いたりもするこの辺では馬鹿としかいいようがない農法をしています。この農法は、畑の地力や生態系の安定状況などが大きく関与するため、生産力と

しては、安定するまで時間がかかってしまうのが現状です。ただ、その時の草の種類、大きさ状態などで、その畑の健康状態がわかるので、僕としては草は畑の先生のような存在です。さて、このまま書き続けると文章が限りなく続いてしまうので、強引に本題に入ります。僕が現在の農業で感じることは、作物を生産すること、念頭においてしまっているためなのか、とても機械的で無機質なものになってしまっているかと思えます。確かに農業は食料を生産する仕事ですがその地域の文化や環境なども保全する役目も果たしているのだと思います。

ただ、農家だけがその役割を担うのではなく、消費者も巻きこんだ形になれば、畑に出ている人も自分の仕事を理解してもらえるということ、やる気も出るような気がします。作物を収穫するまでも相当な工程があります。何分何秒でできる代物では決してありませんし、食料として、農家さんで育てられている野菜がどのように育ってきたかを知って欲しいのです。このご時勢、農家だけではあまりに窮屈で伸びられないと思います。お買い物をするスーパーではなく、直接食べる側の意見で

人のつぎき

表彰

もって支えられていくほうが健全なのかなと思います。畑は、農家さんしか入れないところではなく、食という観点から自然に触れることができる学び屋であってほしいなと思うところで。農業として自立はできなかったものの、こんな夢うつつをぬかしている次第ではありますが、善処して頂ければ幸いに思います。粗末な文章で申し訳ありません。最後まで読んでくれた方、ありがとうございます。

第86回全国市議会議長会定期総会において表彰されました。

◎30年勤続表彰

笹原 光政 議員

◎10年勤続表彰

小関 常良 議員
石塚ミツ子 議員
奥山 格 議員
菅原 信博 前議員
加賀 正和 前議員

あしがき

4月中旬に日中友好のつばさで中国の大連を訪問しました。人口200万人の大都市との交流事業は、尾花沢の花笠おどりを中心に賑やかに行われました。現在、中国ではおしんの録画放映がブームを呼んでいます。女優の田中裕子さんが大人気です。銀山温泉はおしんの生まれ育った所ですよと説明しますと、大変、興味を示してくれました。中国では温泉は少なく、現在日本への旅行者が急増中で旅行ブームです。北京オリンピックの影響で景気も良好なようです。近い将来、大連の市民の方々が尾花沢を訪れることを期待しています。議会だよりに対するご意見をお寄せ下さることを願います。



鈴木(敏)

市議会だより編集委員

◎菅野 修一 ○笹原 光政
須貝 孝 鈴木 敏正
奥山 格 石塚ミツ子
加藤 克彦
◎委員長 ○副委員長